

議会だより

にしあいづ No. 122

2013.8.5

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



- 名誉町民 新田正夫教育振興基金創設！！ 2
- 国保税率の変更により本年度の税負担増 3
- ここが聞きたい！一般質問 8人が登壇 4
- 新型インフルエンザ等対策本部条例を可決 8
- 議員報酬・職員給与など来年2月まで月額5.57%削減 9
- 若い力で菌床栽培に取り組む五寧陽平さんにインタビュー 10

一打入魂！！（レディースゲートボール大会）

基金を創設!!



月例会 6議定例会

平成25年6月議会定例会を6月7日から12日まで、6日間の会期で開きました。

提出された議案は、新田正夫教育振興基金条例の制定、税条例や国民健康保険税条例などの一部改正、平成25年度的一般会計等補正予算や財産の取得など15件で、全ての議案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

一般質問では議員8人が登壇し、町の考えや対応を問いただしました。

児童生徒の人材育成のために

新田正夫教育振興基金条例

本町発展のために、これまで多くのご寄附、ご寄贈をいただいている名誉市民の故新田正夫さんから、本年4月に西会津中学校町民図書館の新田正夫図書コーナーの充実を図るため、2千万円のご寄附をいただきました。

ご寄附いただいた新田正夫さんのご遺志を基本とし、第1に新田正夫図書コーナーの充実として、偉人伝・人物伝などの図書を購入することとし、ご遺族と相談しながら教育の振興に活用していくこととなります。

【質疑】

青木照夫議員

新田正夫さんの功績をたたえるような形あるものが必要ではないか。

町長

今回の教育振興基金を活用し、新田正夫さんの胸像や銅像などを製作す

ることが適切かどうか、ご遺族と検討させていただきたい。

長谷沼清吉議員

新築される西会津小学校にも新田正夫図書コーナーを設置しては。

教育長

新築される西会津小学校は、西会津中学校に併設されるので、中学校町民図書館の新田正夫コーナーの図書に小学生向けの図書も購入し充実を図る。





名誉町民

新田正夫教育振興

条例改正

国保税率の変更により 本年度の税負担増

地方税法の改正および町国保税の税率の変更に
より国民健康保険条例
を改正しました。

なお、今年度の税率は
左の表のとおりで、昨年
度と比較して一人あたり
の税負担は増額となつて
います。

また、町税条例も地方
税法の改正により、個人

住民税、固定資産税など
の条項を改正しました。

甲石地区にも

飲料水を供給

簡易水道設置に関する
条例を改正し、甲石地区
に飲料水を供給するため、
青坂飲料水供給施設の給
水区域に甲石地区を追加
しました。

国保税率

区分		平成25年度	平成24年度
医療分	所得割	5.49%	5.54%
	資産割	22.60%	25.18%
	均等割	21,500円	21,400円
	平等割	17,100円	18,400円
介護分	所得割	2.13%	1.86%
	資産割	12.30%	11.10%
	均等割	11,000円	9,900円
	平等割	6,000円	5,700円
支援分 (後期高齢者)	所得割	2.20%	2.01%
	資産割	9.20%	8.80%
	均等割	8,700円	7,700円
	平等割	7,000円	6,800円

【質疑】

多賀剛議員

給水人口が増えること
で、水源に渇水の心配は
ないか。

建設水道課長

青坂地区の給水人口が
減少しており、甲石地区
を追加しても十分な水量

は確保できる。

長谷沼清吉議員

青坂地区と甲石地区で
何人使用することになる
のか。

建設水道課長

青坂地区で18人、甲石
地区で14人が使用する。

補正予算

野沢保育所駐車場整備費などを追加

3213万2千円を減額

一般会計補正予算(第
2次)は、野沢保育所駐

健康福祉課長

車場整備の追加や空き家
情報バンク立ち上げの経
費、農林産物の風評被害
払拭活動の支援事業経費
などを新規計上したもの
の、明神橋耐震工事の交
付金決定額の減額により、
3213万2千円を減額
しました。

現地確認を行い、駐車
場入口の側溝の強度が除
雪重機を入れるには弱い
こと、全面舗装をした際
に雨水などが相当量出る
ことが予想されることか
ら、両側に側溝を入れる。

また、国民健康保険特
別会計補正予算(第1次)

その他の議決事項

は、事業勘定に200万
円を増額しました。

財産の取得

除雪ドーザー6台、ロー
タリ除雪車1台、食器・
食缶洗浄機1台を取得し
ました。

【質疑】

長谷川義雄議員

野沢保育所の駐車場整
備費追加の内容は。

喜多方地方広域市町村
圏組合規約の変更

町議会委員会条例の一

部改正

委員会の委員の選任を
任期満了前にできるように
改正しました。

請願 陳情

採択した陳情
(敬称略)

■国に対し東京電力福島
第一原子力発電所事故
により発生した損害賠
償請求権につき3年の
消滅時効の適用を排除
する立法措置を求める
意見書の提出を求める
陳情
陳情者 福島県弁護士会
会長 小池達哉

提出した意見書

■国に対し、東京電力福
島第一原子力発電所事
故により発生した損害
賠償請求権につき3年
の消滅時効の適用を排
除する立法措置を求め
る意見書

提出先 内閣総理大臣、
復興大臣、衆議院議長、
参議院議長

町政のここが聞きたい 議員は問う 8人が登壇

こんな質問をしました（質問順）

○猪俣常三議員

- ①西会津町縦貫道路の進捗状況について
- ②新型インフルエンザ等対策に係る課題について
- ③全国瞬時警報システム情報について

○三留正義議員

- ①街路灯や防犯灯についてLED化の考えはないか
- ②平成25年度における米の生産調整に不安はないか

○長谷川義雄議員

- ①西会津小学校建設について
- ②公共施設の老朽化の現状について

○多賀剛議員

- ①「協働のまちづくり」について
- ②交流人口の拡大について
- ③教育問題について

○鈴木満子議員

- ①学校給食調理業務の民間委託について
- ②高齢者の配食弁当について
- ③介護老人施設の増設を

○青木照夫議員

- ①空き家・廃屋等の問題解決について
- ②野沢町内の克雪活動支援について

○清野佐一議員

- ①防災対策について
- ②「住んでみたい行ってみたい町」づくりについて

○長谷沼清吉議員

- ①大震災・豪雨災の記録集について
- ②消防支援隊について
- ③まちづくり提案制度について



街路灯のLED化で自治区の負担軽減を

問

街路灯や防犯灯のLED化の考えは

答

検討していく必要がある

三留正義議員

問 街路灯や防犯灯を多く有する自治区では、電気料金が自治区の財源を圧迫している。街路灯や防犯灯をLED化する考えはないか。

企画情報課長

街路灯と防犯灯は、これまで町が設置し、維持

管理経費は自治区負担としてすみ分けしてきた経緯がある。LED化の実施にあたっては、補助制度の検討や費用負担のあり方などを含め、十分に検討していく。

問 平成25年度における米の生産調整に不安はないか。

農林振興課長

4月中旬に県から地域間調整の仮確定が示され、県内すべての市町村に要望数量の83パーセントしか配分されず、希望数量を下回る423トンの配分となった。

地域間調整を含むJA受委託を希望した農家には、約18パーセントを備蓄米で対応していただくようお願いした。平成24年産米と比較すると、備蓄米は出荷米より安価であるが、備蓄米に取り組めば県と町から産地資金が交付され、農家の手取り額はほぼ同額となる見込みである。

問 大震災・豪雨災の資料集の発行は

答 内部資料として作成する

長谷沼 清 吉議員

問 東日本大震災とそれに伴う放射能汚染への対応は、初めての対応であった。後世に伝えるためにも、資料集を発行すべきであると考えますが、町の対応は。

町民税務課長

放射能対策は現在も継続して取り組んでいるこ

ともあり、今後それぞれの事例ごとに、経過や取り組みなどを詳細に記録としてまとめていく。

なお、今後作成する避難所開設マニュアルなどの資料は、記録集ではな

く閲覧可能な防災対策の内部資料として作成する。

問 消防支援隊の設置

要綱が例規集に載っていないのはなぜか。

また、辞令が交付されていないがなぜか。

町民税務課長

消防支援隊の設置要綱は、平成21年の発足の際に制定している。例規集には、その当時の判断で載せなかったが、今回改正をしたことから、例規集に載せる考えである。辞令交付式は、当初4月に予定していたが、辞令交付対象者の事情により延期となっていた。なお、6月中に辞令交付式が行えるよう日程調整をしているところである。

問 町縦貫道路の町道部分と県道部分のそれぞれの工事の進捗状況と今後の見通しは。

町長

町道部の野沢柴崎線は、全体の7割が完成し供用を開始している。阿賀川に架かる橋屋橋は、県代

行事業により、本年度は橋梁下部工の工事に着手

問 西会津町縦貫道路の完成の見通しは

答 橋屋橋の供用開始に合わせ完成させたい

猪俣 常三議員



カーブがきつく、道も狭い奥川中町地内

する予定である。県道部では、本年度より上郷下野尻線の樟山バイパスの工事に着手する。奥川新郷線は、県から奥川中町地区の国道459号線との接続部付近のルートが示された。

今後は、平成28年度の橋屋橋完成に向け、関係機関に要請するとともに、橋屋橋の供用開始に合わせ、町道部も完成するよう努力する。

健康福祉課長

問 診療所と介護福祉施設が隣接しているが、施設入所者への新型コロナウイルスエンザなどの感染防止対策はされているか。

診療所への感染症患者の受診者が増えてきた場合や介護老人保健施設内での入所者の感染症が確認された場合は、各施設の通路を封鎖している。また、感染した入所者は、別の部屋に移すなど院内感染や施設外への感染拡大防止対策をしている。

問 介護老人施設の増設を

答 民間活力を導入する

鈴木満子議員

施設の整備には多額の費用負担が必要であり、今後の財政計画を考え、民間活力を導入することとした。

問 高齢者等配食サービスは、どんな目的で実施しているのか。

健康福祉課長
配食サービスの目的は、

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、栄養バランスのとれた弁当を調理して、地域のボランティアの方が安否を確認しながら配達することで、食の提供と見守りという重要な役割を果たしている。



特別養護老人ホームなどの施設の増設を

問 流雪溝の改修は

答 克雪活動実行委員会と協議し、確認する

青木照夫議員

問 流雪溝の運用管理は、地域の自主活動として実施しているが、昨年度は例年になく水が溢れ、床下・床上浸水が発生した。原因は一部の流雪溝にある。事故が増加している現状から、その部分の改修・補修が必要である。町の対応を問う。

建設水道課長

流雪溝の改修や補修は、昨年度に取水箇所の改善、堆積土砂の撤去、止水板の取替えなど、克雪活動実行委員会と協議しながら改善を図った。さらなる支障箇所があれば、克雪活動実行委員会と協議し、現地を確認のうえ改善に向け対処したい。



流雪溝の早期改修が望まれる

問 空き家・廃屋が増加している。対処するには条例の制定が必要と思われる。私有財産や利害関係の把握に困難なことから、町独自の規制条例

制定の取り組みが必要と思いが、町の対応は。

町民税務課長

空き家・空き店舗などの老朽化した危険家屋は、防災、防犯、景観などの観点や倒壊の不安は全国

的な課題である。町では所有者や管理者に対し、適切な管理をお願いしているが、空き家対策の条例を早急に制定するよう作業を進めている。

問 施設入所待機者を解消するためには、施設を作るしかない。民間に頼らず、町と福祉会が展望を持って大きな事業に取り組みべきではないか。

健康福祉課長

特別養護老人ホームなどの施設の増設は、第5期介護保険事業計画の策定の段階で議論したが、

問 「協働のまちづくり」は進んでいるか

答 徐々に進んでいる

問 まちづくりの基本条例では、「まちづくりの主役は町民である」と規定されている。今年と同条例が施行されて5年目となる。「協働のまちづくり」がどれだけ実現できたのか問う。

町長

総合計画策定の際の検討組織の設置や各種審議会等委員の公募、町政懇談会やまちづくり提案制度など、町民参加のしくみに基づき、協働のまちづくりは町の施策の中で着実に実行されている。

問 小中学生の学力の低下が懸念されている。

県内においても会津地方の学力が低いといわれている中で、本町の学力レベルはどのようになっているのか。全国学力・学習状況調査の実態はどうなっているのか。今後の学力アップへの具体的な

な対策を問う。

教育長

昨年11月に小学校5年生、中学校2年生を対象に実施された「県学力調査」の結果では、小学校5年生は国語、算数、理科の3教科すべてが全国平均とほぼ同等であった。



小中連携教育をさらに推進

多賀 剛議員

中学校2年生は全国と比較し国語はほぼ同等、数学と英語はやや下回っていた。

今後は小学校5・6年生の一部教科担任制や小中学校教員の交流など、小中連携教育をなお一層研究的に推進していく。

問 西会津小学校開校までの計画は

答 計画どおり平成27年4月に開校する

長谷川 義 雄議員

終え、建築事業が完了次第備品の搬入や引越し作業を行い、新校舎は当初の計画どおり平成27年4月に開校する。

問 公共施設が老朽化している現状にある。役場庁舎の移転も重要だが、保育所施設整備も早急に必要なと思うが、どのように考えているか。

町長

保育所行政も含め、子育て支援は「未来を担う子どもの育成」を町づくりの最重要課題と位置づけ取り組んできた。

保育所整備のため、今年度はニーズ調査や場所の選考作業、施設配置図の作成など、基本構想を策定することになっている。



敷地造成工事が完了した小学校建設予定地

自主防災組織の推進の考えは

組織の拡大を推進する

清野 佐 一 議員



防災意識は日ごろから

第3回 臨時議会

新型コロナウイルス等対策本部条例を可決

5月13日に第3回議会臨時会を開会し、町から新型コロナウイルス等対策本部条例など4件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

平成25年度一般会計

補正予算

米の放射性物質吸収抑制対策事業（塩化カリ追肥事業）や西会津小学校新築にかかる事業費など2241万2千円を増額しました。

【質疑】

清野佐一議員

塩化カリ追肥事業の今後のスケジュールは、農家の皆さんに5月末まで注文をとり、注文いただいた数量を追肥の時期に間に合うようにお届けしたい。

農林振興課長

長谷川義雄議員
見積書のチェックはしなかったのか。何人でチェックしたのか。

企画情報課長

3人程度のチェックをしたが、発見できなかった。我々のミスである。

税特別措置条例の一部改正の専決処分の承認

過疎地域における固定資産税の課税免除の適用期限を2年延長する条例改正の専決処分（※）を承認しました。

【質疑】

長谷沼清吉議員

適用期限の延長による町への影響額は、

町民税務課長

平成25年度は、現時点で320万円ほどである。

平成24年度一般会計補正予算の専決処分の承認

交付金などの額の確定による平成24年度の予算の整理を承認しました。

問

自主防災組織の推進の考えは

答

組織の拡大を推進する

清野 佐 一 議員

町民税務課長
自主防災組織の必要性は十分に認識し、自治区長会議の中でも説明をしている。

今後もし引き続き、西会津消防署などの関係機関との連携を図りながら、自主防災組織の拡大を推進していく。

問 町の地域活性化のために、グリーンツーリズムなどが行われているが、リピーターとしてまたきていただくためには、

心温まるおもてなしやゴミのない美しい町づくりが必要と考える。ゴミのポイ捨て禁止条例はいつ頃制定するのか。

町民税務課長

ゴミのない美しい町づくりのために、不法投棄パトロールや不法投棄物の撤去、防止看板の設置などを実施している。

町としても罰則規定を設けた条例の制定は必要と考え、早期制定に向けて作業を進めている。

新型コロナウイルス等対策本部条例
国で新型コロナウイルス等緊急事態宣言をした時に、町が設置する対策本部についての組織や会議などの必要な事項を定めました。

【質疑】

多賀剛議員

新型コロナウイルスが流行したときの薬剤の確保は、

健康福祉課長

新型コロナウイルスが発生した当初は、基本的に国が対策を進めることになるが、国の指導に基づき、薬剤の確保やワクチン接種を進めていく。

多賀剛議員
小学校の設計監理委託料が増額になった理由は、

企画情報課長

県の公共工事の設計労務単価が上昇したこと、予算計上の際に業者から提出された見積書の面積の算定に誤りがあったためである。

平成24年度一般会計補正予算の専決処分の承認

交付金などの額の確定による平成24年度の予算の整理を承認しました。

（※）専決処分の承認とは…本来、議会の議決で決めるべき事柄を町長が議会を招集する時間的余裕がない場合などに議会の議決の前に自らその処理を行い、後で議会の承認をいただくものです。

議員報酬・職員給与など 来年2月まで月額5・57%削減

7月9日に第5回議会臨時会を開会し、町から議会議員の報酬や職員の給与を削減する条例改正案など5件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。

■町長等及び教育長の給与の臨時特例に関する条例
国からの要請により、町長、副町長、教育長の給与を8月1日から来年2月28日まで、月額5・57パーセント減額する条例を制定しました。

【質疑】

長谷沼清吉議員
会津管内や県内自治体の給与削減の状況は。
総務課長
会津耶麻町村会（※）の取り組みが、ある程度先行しているところがある。

。県内では検討中のところがかかなりあり、はっきり実施しないといった町村は、浜通りの原発災害を受けた町村以外は無い。市の中には取り組みがない市もある。

■議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例

議会議員の報酬も同様に減額する条例を制定しました。

■職員の給与等の臨時特例に関する条例

職員への給与も同様に減額する条例を制定しました。

【質疑】

長谷沼清吉議員
職員組合との話し合いは。
総務課長
これまで2回ほど協議をしたが、合意には至らなかった。

討論

鈴木満子議員

自治体が自主的に決めべき給与への国の介入は、自治体の根本に抵触するのではないか。また、地方交付税が国の施策誘導に利用されることは許されない。さらに、人事院の勧告の無い削減は問題ではないか。これらのことから反対する。

■語学指導を行う外国青年の給与等に関する条例の一部改正

外国語指導助手と国際交流員の給与を定額から任用期間に応じた金額に改正しました。

■平成25年度一般会計補正予算（第3次）

参議院議員選挙と町長選挙が同時に執行されることになったため、選挙費を98万5千円増額し、予算の組替えをしました。

議案名	三留	長谷川	渡部	伊藤	猪俣	鈴木	多賀	青木	荒海	清野	五十嵐	武藤	長谷沼
町長等及び教育長の給与の臨時特例に関する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
職員の給与等の臨時特例に関する条例	●	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—	●
語学指導を行う外国青年の給与等に関する条例の一部改正	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
平成25年度一般会計補正予算（第3次）	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○

※○は賛成、●は反対 欠は欠席。なお、武藤議員は議長のため採決に加わっていません。

委員会の構成を新しく

常任委員会、議会運営委員会及び議会広報特別委員会委員の任期は2年となっており、7月6日で任期を満了したことから、7月8日の臨時会でメンバーの変更と委員長及び副委員長の互選を行いました。

経済常任委員会

委員長 五十嵐 比古
副委員長 荒海 忠清
委員 鈴木 木藤 伊藤 渡部 武藤
委員 伊藤 渡部 武藤

総務常任委員会

委員長 夫剛 吉三 雄義
副委員長 照清 常義 正佐
委員 青多 長猪 長三 清

議会広報特別委員会

委員長 渡部 憲
副委員長 三留 正
委員 伊藤 藤 一 義 雄
委員 長谷川 義 雄 一
委員 清野 佐

議会運営委員会

委員長 吉隆 古夫 剛子
副委員長 清比 清忠 照 滿
委員 長谷 沼海 清 忠 照 滿
委員 荒五 青多 鈴木

（※）会津耶麻町村会とは…西会津町、猪苗代町、磐梯町、北塩原村の4町村で構成しています。

インタビュー

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。今回は、若い力でシイタケやキクラゲの菌床栽培に取り組む五寧陽平さん（西林東）です。

—ご出身は。 神奈川県横浜市です。

—初めて西会津に来たときの印象は。

横浜から結構近いなど思いました。西会津は山の稜線や星空がすごくきれいで、虫やカエルの鳴き声、風の音が気持ちよく感じました。そしてお米がうまい。空気も違うと思いました。

—菌床栽培を始めたきっかけは。

妻の「これなら私でもできる」と言った一言と、



愛情を注ぐキクラゲと五寧陽平さん

プロフィール

住 所：西林東（尾野本）
年 齢：40歳
家族構成：妻、子ども3人
趣 味：車・ドライブ

会社員でいるより農家になり、子どもとの時間を増やしたかったからです。

—いろいろな活動に積極的に参加されていますが、将来の夢は。

地域貢献は、町外出身の私を受け入れてくれた地域の皆さんに感謝の形です。将来の夢は、子どもたちの学校卒業後の選択肢が、農業をはじめ各種産業で都市部と同じ比率で選べるようになること。そのために、都市部の子どものとの交流により、

第二の故郷化を図ることを今から始めています。

—町議会や町に望むことは。

子育て世代が町内で生活したいと思う、思い切った総合的政策の実施と環境整備。そして基幹産業の農林業への資金面の応援や農業特区の活用など、日本一の支援制度の確立をお願いします。

—ご協力ありがとうございました。今後のご活躍を期待しています。

議会の動き

議会の活性化を推進

町議会では、平成25年3月21日に議会の最高規範である議会基本条例を制定し、その目的を果たすため、さらなる議会改革と活性化に向けた調査・検証を進め、議会基本条例の内容等の具現化や町民への啓発、合意形成を図っていくことが必要であるとしました。

そこで、6月議会定例会会期中に、第2回議会活性化特別委員会を開催し、議会活性化の調査に関する基本方針案と議会報告会並びに意見交換会について協議を行いました。

議会活性化の調査に関する基本方針案については、12項目の案に2項目を追加し14項目としました。

た。

また議会報告会並びに意見交換会については、他市町村の実施状況から、意見交換会を議会報告会とあわせて開催することにより、より効果的な運営ができることなどが確認されていることから、同時に開催することとしました。なお、開催の日程は、9月議会定例会後に決定することとしました。

小柴 敬氏が新議員に

7月21日に執行された議員補欠選挙で、小柴敬氏（60歳・4町内）が当選されました。なお、常任委員会の所属は、経済常任委員会となります。



小柴 敬議員

編集後記

今年の梅雨も後半に入り、まだ寝苦しい夜が続いており、猛暑焼くがごとくです。

町議会の常任委員会や我々の議会広報特別委員会も委員の入れ替えがあり、新体制で事業に臨むことになりました。

これからも町議会は行政、町民のみなさんと共に、町民のみなさんが望む安心して暮らせる町を作っていくと思います。

町民のみなさんには、猛暑の中健康に留意され、仕事に家事に、暑さに負けずにがんばっていただきたいと思います。

（渡部 憲）

編集委員

委員長 渡部 憲

副委員長 三留 正義

委員 長谷川義雄

委員 伊藤 一男

委員 清野 佐一

にしあいづ議会だより

No. 122

発行 福島県西会津町議会
編集 議会広報特別委員会

〒9699・4495 福島県耶麻郡西会津町野沢字
下小屋上乙3261 ☎0241・45・4537
e-mail gikai@town.nishiaizu.fukushima.jp